

宮崎の6次産業化を推進する社会人教育プログラム

～ “なか九州” 新事業創出人材育成講座～

田中 秀典<sup>1</sup>・新城 裕司<sup>2</sup>・川村 修<sup>1</sup>・明石 良<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>宮崎大学農学部、<sup>2</sup>宮崎大学産学・地域連携センター)

6次産業とは農業や水産業などの第1次産業が食品加工（第2次産業）・流通販売（第3次産業）にも業務展開している経営形態を表しており、このような経営の多角化を6次産業化と呼ばれている。現在、国では雇用と所得を確保し、若者や子供も集落に定住できる社会を構築するため、農林漁業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進するなど、農山漁村の6次産業化を推進している。しかしながら、6次産業化を推進できる人材が少ないため、農林水産省では、これらのビジネスの創出を担う人材を育成するためのプログラムを開発し、全国において同プログラムを活用した人材育成と同プログラムの普及を行っている。

宮崎大学では、農林水産省の委託を受け、宮崎版6次産業人材育成プログラムを構築し、“なか九州”新事業創出人材育成講座として、社会人や大学院生に向けて平成24年度および25年度の2カ年にわたり実施した。平成25年度は、このプログラムの地域的な広がりを目指し、熊本大学と連携して九州中部（なか九州）への波及を目指しながら、熊本県南部（人吉・水俣）及び宮崎県北部（日向）において地域セミナーも開催した。また、このプログラムは、受講生は内閣府が実施している「食の6次産業化プロデューサー（食 Pro.）キャリア段位制度」のレベル3（事業主・法人スタッフ）の認証を受けており、受講生は食 Pro.レベル3が取得できる体制となっている。これらの取り組みにより、農業に関する具体的なビジネスモデルが構築でき、宮崎における6次産業化の推進に貢献できる人材を育成する。

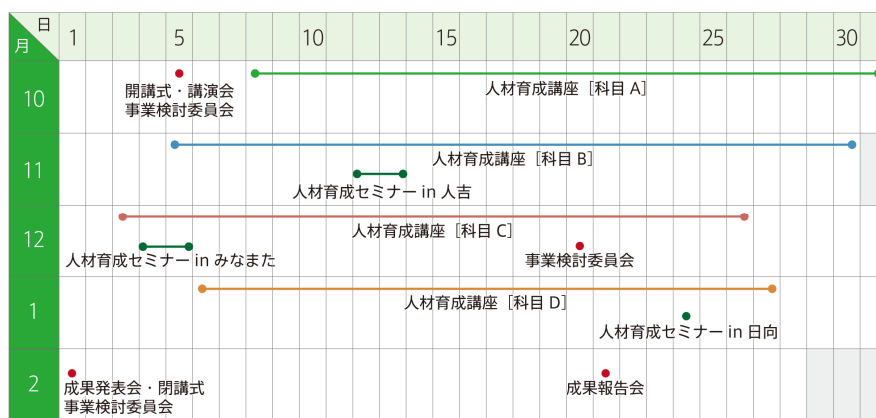


図. 平成25年度実施分のスケジュール

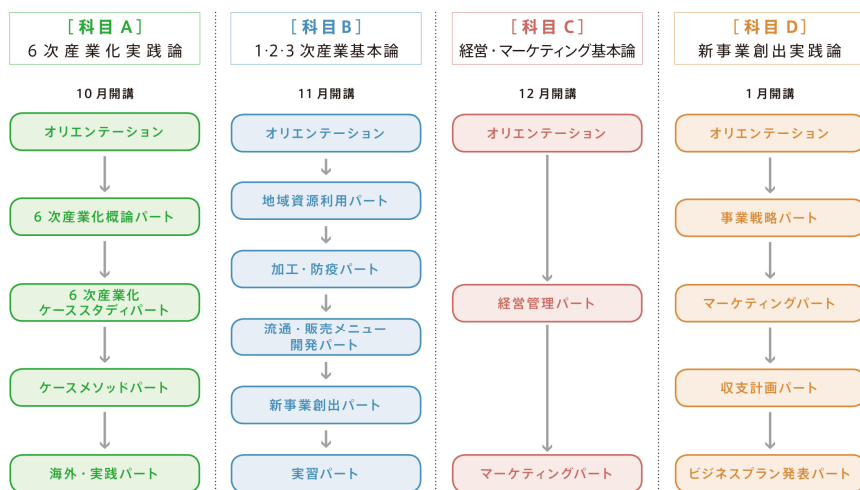


図. 講義体系図